

教養学部 教養学科 ヨーロッパ・アメリカ文化専修課程

養成人材

人文学及び関連する社会科学の諸成果を継承し、多様な文化及び価値観を理解するとともに、自ら問題を設定・解決し、国内外の人々と的確に意思疎通できる能力を培うことを通して、現代の文化及び社会の諸問題に対処し得る人材を育成することを教育研究上の目的とする。

学位授与の方針

教養学部では、現代の文化及び社会の諸問題に対処し得る人材になるため以下の知識、能力を身につけ、卒業要件として定めている124単位を修得した学生に学士(教養)の学位を授与する。

(1) 専門的な深い知識の修得に関連する事柄

所属する専修課程(グローバル・ガバナンス専修課程、現代社会専修課程、哲学歴史専修課程、ヨーロッパ・アメリカ文化専修課程、日本・アジア文化専修課程)における学修によって、次のa~dを達成している。

- a. 各分野で蓄積された先行研究の成果をよく理解し、体系的で深い専門知識を修得する。
- b. 専門分野の方法(語学を含む)に習熟する。
- c. 専門分野に関して自身で問題を設定し、それについて探求・解決する能力を身につけている。
- d. 自身の研究成果を他者に説明し議論する能力を身につけている。

(2) 専門性のある幅広い基本的知識の修得に関連する事柄

次のa, bを達成している。

- a. 人文学・社会科学・自然科学に関する幅広い基本的知識を修得する。
- b. 所属する専修課程の専門分野に関連する分野の基本的知識を修得する。

(3) 知識を活用できる汎用的な能力の修得に関連する事柄

次のa~dを修得している。

- a. 幅広い視点に立って、自身で問題を設定する能力
- b. 設定した問題について情報や知識を的確に調査・収集する能力
- c. 設定した問題について多面的かつ論理的に考える能力
- d. 自らのアイデアを的確に伝える能力(語学の運用能力を含む)

(4) 学部における人材養成の目的に合致した能力の修得に関連する事柄

次のa, bを修得している。

- a. 国際的視野を持ち、国内外の多様な文化および価値観を理解する能力
- b. 現代の文化や社会の問題にさまざまな形で取り組む能力

教育目標

- 1 人文社会科学系専門科目を学修するための幅広い基礎を修得する。
- 2 所属専修課程(ヨーロッパ・アメリカ文化)における基本的な専門知識を修得する。
- 3 所属専修課程(ヨーロッパ・アメリカ文化)における特定の専門知識を修得する。
- 4 所属専修課程(ヨーロッパ・アメリカ文化)における専門分野の理解を深め、その知識を運用するための方法を修得する。
- 5 演習や卒業論文作成を通じて、所属専修課程(ヨーロッパ・アメリカ文化)の専門分野に関する問題設定と課題解決をする能力、およびその成果を発表する能力を育む。

年次	科目	到達目標	教育目標1	教育目標2	教育目標3	教育目標4	教育目標5
1~2	ヨーロッパ研究入門	ヨーロッパ起源の諸々の思想や制度、文化についての基礎的理解を得るとともに、人文社会科学における(多くはヨーロッパ起源の)諸々の思考様式や価値判断の間の対立構造について、パラダイムレベルで把握する足掛かりを作る。	◎	○			
1~2	アメリカ研究入門A	アメリカの女性史を学ぶ アメリカの社会や文化に関する理解を深める	◎	○			
1~2	アメリカ研究入門B	1) アメリカ史における基本的な事項を理解する。 2) アメリカの社会や文化に関する理解を深める。	◎	○			
1~2	ドイツ語圏文化概説A	以下の3点を到達目標とします。 (1) ハプスブルク君主国の文化と芸術の歴史について概説的な知識を得る。 (2) 具体的な文化現象や芸術作品について分析的に語るための基礎的な知識を得る。 (3) 文化や芸術と社会との関係性について議論するための基礎的な知識を得る。	○	◎			
1~2	ドイツ語圏文化概説B	以下の3点を到達目標とします。 (1) ドイツ語圏の文化について概説的な知識を得る。 (2) 具体的な文化現象や文化的産物について分析的に語るための基礎的な知識を得る。 (3) 文化と社会との関係性について議論するための基礎的な知識を得る。	○	◎			
1~2	ドイツ語圏文化史	以下の3点を到達目標とします。 (1) ドイツ語圏の文化について概説的な知識を得る。 (2) 具体的な文化現象や文化的産物について分析的に語るための基礎的な知識を得る。 (3) 文化と社会との関係性について議論するための基礎的な知識を得る。	○	◎			
1~2	ロシア学入門A	ロシアとウクライナの歴史について基本的理解と自己の考えを持つこと	○	◎			
1~2	ロシア学入門B	ロシアと東スラブ文化圏の歴史について基本的理解とジオの理解を持つこと	○	◎			
1~2	スラブ語圏の民族と文化A	(1) ウクライナおよび中東欧についての基本的知識を持つこと。 (2) ウクライナの学生との英語による共同セミナーを通して国際的コミュニケーション力を養うこと。	○	◎			
1~2	スラブ語圏の民族と文化B	(1) ウクライナおよび中東欧についての基本的知識を持つこと。 (2) ウクライナの学生との英語による共同セミナーを通して国際的コミュニケーション力を養うこと。	○	◎			
1~2	イギリス文学史A	古代・中世から19世紀前半までのイギリス文学の歴史を学び、代表的な作家・作品、及びそれらの重要性について理解を深める。	○	◎			
1~2	イギリス文学史B	19世紀ヴィクトリア朝から現代に至るまでのイギリス文学の歴史の流れを把握し、代表的な作家・作品についての知識を得る。	○	◎			

1~2	英語学概説A	(1) 英語(および言語一般)を科学的に分析するとはどのようなことか、理解する。 (2) 英語学の基本的な概念・用語を理解した上で、英語の簡単な分析ができる。 (3) 英語学的観点から英語がどのような言語であるかを知り、「国際共通語としての英語」の「核」となる部分を見つける。 (4) 英語を通して言語一般の仕組みを理解する。	○	◎				
1~2	英語学概説B	(1) 英語(および言語一般)を科学的に分析するとはどのようなことか、理解する。 (2) 英語学の基本的な概念・用語を理解し、英語の簡単な分析ができる。 (3) 英語学的観点から英語がどのような言語であるかを知り、「国際共通語としての英語」の「核」となる部分を見つける。 (4) 英語と日本語の比較・対照を通して言語一般の仕組みを理解する。	○	◎				
2	Integrated English Skills(Communication) IA	This class is intended to help students to develop communicative strategies that will help with fluency and topic development in conversational situations.					◎	
2	Integrated English Skills(Communication) IB	In this class, learners will gain knowledge of how to understand communicative fluency which they can apply effectively in social and academic settings.					◎	
2	Integrated English Skills(Writing) IIA	This class is intended to guide learners to understand and master the writing structures requires for academic writing and reports such as the 'thesis statement' and essay planning and organisation.					◎	
2	Integrated English Skills(Writing) IIB	In this class, learners will develop skills to understand the academic writing genre along with learning how to use citations and sources in their writing to provide evidence to support an opinion on any given topic.					◎	
3	Integrated English Skills(Reading) IIIA	This class is intended for learners to develop effective reading skills through both extensive and intensive reading as well as instruction and advice on how to prepare test texts for groupwork activities.					◎	
3	Integrated English Skills(Reading) IIIB	In this class, learners will be taught skills to read English language texts more quickly and efficiently for both English language homework reading assignments in other classes and for test situations.					◎	
2	ドイツ語会話(初級)IA	ドイツ語の単語と文法を身につけること。					◎	
2	ドイツ語会話(初級)IB	ドイツ語の単語と文法を身につけること。					◎	
3	ドイツ語会話(中級)IIA	目標はいろんな話題について会話をできるようになること。					◎	
3	ドイツ語会話(中級)IIB	目標はいろんな話題について会話をできるようになること。					◎	
3	ドイツ語作文IA	ドイツ語で書けるようになること。					◎	
3	ドイツ語作文IB	ドイツ語で書けるようになること。					◎	
2	フランス語会話(初級)IA	日常的な場面でのフランス語会話が支障なくできるレベルを目指す。					◎	
2	フランス語会話(初級)IB	日常的な場面でのフランス語会話が支障なくできるレベルを目指す。					◎	
3	フランス語会話(中級)IIA	日常的な場面でのより高度なフランス語会話が支障なくできるレベルを目指す。					◎	
3	フランス語会話(中級)IIB	日常的な場面でのより高度なフランス語会話が支障なくできるレベルを目指す。					◎	
2	フランス語作文IA	フランス語で簡単な文章が書けるようになること。					◎	
2	フランス語作文IB	フランス語で簡単な文章が書けるようになること。					◎	
3	フランス語作文IIA	フランス語で簡単な文章が書けるようになること。					◎	
3	フランス語作文IIB	フランス語で簡単な文章が書けるようになること。					◎	
2	ロシア語会話(初級)IA	ロシア語で簡単な会話ができるようになること					◎	
2	ロシア語会話(初級)IB	ロシア語で簡単な会話ができるようになること					◎	
2	ロシア語作文IA	ロシア語文法の基本を固める／作文・会話の初歩／読解・聴解の初歩					◎	
2	ロシア語作文IB	ロシア語文法の基本を固める／作文・会話の初歩／読解・聴解の初歩					◎	
3	ロシア語作文IIA	ロシア語文法の基本を固める／作文・会話の初歩／読解・聴解の初歩					◎	
3	ロシア語作文IIB	ロシア語文法の基本を固める／作文・会話の初歩／読解・聴解の初歩					◎	
2	ギリシャ語I	古典ギリシャ語文法の基礎を学び、理解する。					◎	
2	ギリシャ語II	古典ギリシャ語文法の基礎を理解する					◎	
2	ラテン語I	ラテン語文法の初歩を学び、理解する。 初級以上に向けた継続的な自習を進めていくために必要な基礎知識を身につける。					◎	
2	ラテン語II	ラテン語文法の基礎を学び、理解する。 初級以上に向けての継続的な自習を進めていくために必要な基礎知識を身につける。					◎	
2	言語学研究法A	伝統的な言語学の研究対象である言語体系に関する、やや応用的なトピックについての知識を得る。					◎	

2	言語学研究法B	言語コミュニケーションの研究は、人間の行動の理解にとって不可欠であり、他のさまざまな分野と深く関わりあっている。この授業では、言語コミュニケーションに関する一般理論、及び、やや応用的なトピックについての知識を得ることを目標とする。				◎	
2	芸術論史 I	西洋中世美術の作例に親しむ。キリスト教の主題を扱った作品を見た時に、その主題、典拠、意味が理解できるようになる。旅先や美術館で出会った作品の解説を読まなくても、何が描かれているのか判るようになることを目指す。	◎	○			
2	芸術論史 II	近現代芸術にみる「前衛」について理解し、歴史、政治、イデオロギー、芸術領域の越境など多角的な視点から考察することができる。	◎	○			
2	ドイツ語圏の文学 I	(1) ドイツ文学の基礎的な知識を得る。 (2) 文学作品をさまざまな角度から分析できるようになる。 (3) 文学作品を同時代の社会・文化・思想と関連づけて論じることができるようになる。	◎	○			
2	ドイツ語圏の文学 II	(1) ドイツ文学の基礎的な知識を得る。 (2) 文学作品をさまざまな角度から分析できるようになる。 (3) 文学作品を同時代の社会・文化・思想と関連づけて論じることができるようになる。	◎	○			
2	ドイツ語圏の芸術 I	以下の2点を到達目標にします。 1) ドイツ・ロマン主義の芸術と文化について、その基本的な特徴や方向性を説明できるようになる。 2) ドイツ・ロマン主義が生み出した芸術あるいは文学作品について、分析的に語れるようになる。	◎	○			
2	ドイツ語圏の芸術 II	ドイツ語圏の芸術の諸潮流について基本的な知識を得る。	◎	○			
2	ドイツ語圏の音楽 I	ドイツ語圏の音楽の諸潮流について基本的な知識を得る。	◎	○			
2	ドイツ語圏の音楽 II	以下の三点を到達目標とします。 1) ヨーロッパにおいてコンサートという制度が、どのように生まれ発展したかを理解できるようになる。 2) コンサートの意義や役割について、歴史をふまえて考察できるようになる。 3) 音楽と社会との関係性について考察するための視点を獲得する。	◎	○			
2	ドイツ語圏の歴史	以下の2点を主な到達目標とします。 1) 近現代を中心に、ドイツ語圏の社会がたどった歴史についての理解を深める 2) 文化・芸術と社会の関係性について考えるための具体的な視点をつかむ	◎	○			
2	ドイツ語圏文化の背景 I	ドイツの歴史、文化の理解を深める。	◎	○			
2	ドイツ語圏文化の背景 II	ドイツの社会、歴史、文化の理解を深める。	◎	○			
2	ドイツ語圏現代事情 I	Der Spiegel, Die Zeit, ドイツの新聞、雑誌の記事を読み、理解してゆくクラスです。 現代ドイツを全面的に知るための演習。	◎	○			
2	ドイツ語圏現代事情 II	Der Spiegel, Die Zeit, ドイツの新聞、雑誌の記事を読み、理解してゆくクラスです。 現代ドイツを全面的に知るための演習。	◎	○			
2	フランスの文学 I	近現代の文学へと継承されたフランス革命以前の文学を概観し、近現代文学の文化的素地の起源・展開を理解できるようになること。	◎	○			
2	フランスの文学 II	フランス語の詩作のルール versification の基礎、及びフランス詩の流れを理解し、一般に名作として通っている作品の一部を読解、鑑賞出来るようになること。	◎	○			
2	フランスの文化	この授業の到達目標は以下の2点を得ることである。 1) フランス文化や社会に関する具体的な知識と諸事象を広く知る機会。 2) 他国の社会や異文化を理解するための着眼点。	◎	○			
2	フランスの社会	フランスの社会について基本的な知識を得る	◎	○			
2	ロシアの文学 I	ロシアの文学について基本的な知識を得る	◎	○			
2	ロシアの文学 II	ロシアの文学について基本的な知識を得る	◎	○			
2	スラブの歴史 I	スラブの歴史について基本的な知識を得る	◎	○			
2	スラブの歴史 II	スラブの歴史について基本的な知識を得る	◎	○			
2	スラブの芸術 I	スラブの芸術について基本的な知識を得る	◎	○			
2	スラブの芸術 II	スラブの芸術について基本的な知識を得る	◎	○			
2	British Studies I	This is a content based class taught in English on various aspects of British society. In the class students will learn about British identity, multiculturalism, the education system and the causes and consequences of the Brexit result and Britain's withdrawal from the European Union.	◎	○			
2	British Studies II	Following on from what was taught in British Studies I, students will learn about the political system, the results of devolution and debates on social issues such as arguments for and against the continuation of a monarchy as the head of state in contemporary society. In this class, students will also plan and present a group presentation on a subject of their choice related to British Studies.	◎	○			

2	ヨーロッパ地誌	本授業の目的は3つである ① ヨーロッパの都市の歴史とその発展の基本的な知識を身に付けること ② 都市化を促進する原因とそれらが生み出す様々な都市の類型を学ぶこと ③ ヨーロッパの都市の主な特徴を学ぶこと		◎	○		
2	アメリカ史概論 I	アメリカの歴史や社会、文化に関する知識を深める。 週10ページ程度の英文を毎週読み、要約し、コメントをすることで英文読解力ならびに発言力を高める。 文献に関するディスカッションに貢献する能力を涵養する。		◎	○		
2	アメリカ史概論 II	アメリカの歴史や社会、文化に関する知識を深める。 週10ページ程度の英文を毎週読み、要約し、コメントすることで英文読解力ならびに発言力を高める。 文献に関するディスカッション能力を涵養する。		◎	○		
2	アメリカ文学概論	1) アメリカ文学の文化的な概要を自分のことばで説明できる。 2) アメリカの代表的な作家の作品について、そのテーマを掘り下げて分析し、論じることができる。 3) 文学作品を読みこなすのに必要な英語読解力を身につけている。		◎	○		
2	アメリカ社会概論	それぞれの問題の歴史的な背景と現在との関係を考察するので、それに関わる異文化を理解することを期待できる。そして授業の講義と関連文献と課題（レポート）がすべて英語になるので、受講生の英語能力がより上達することも期待できる。また、担当教員や本学に在学する交換留学生等を交えた討論を通じて、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解することを目標とする。		◎	○		
2	アメリカ政治経済論	日本においてもメディアを通してアメリカに触れる機会は少なくないが、基本的な情報を欠いているため正確な理解が実現できないことが多々ある。こうした状況を脱脚し、自分でニュースを判断できる思考力の形成促進を目指す。		◎	○		
2	History of US Foreign Relations	The primary purpose of this course is to provide a survey of the history of American foreign relations. Diligent students will complete the course with an enhanced understanding of US diplomatic history and historical study.		◎	○		
2	History of US-Japan Relations	The primary purpose of this course is to provide students with a survey of the history of US-Japan relations. Successful participants should thus leave the course with sound fundamental knowledge of this history, insight that may also prove useful in understanding contemporary relations between these two countries. Because the course is conducted in English, non-native speakers will also have an excellent opportunity to improve their language abilities.		◎	○		
2	近代国際政治史	・本講義では、17世紀から第二次大戦時までの大国を中心に展開された近代国際政治史における重要な出来事を理解する ・と同時に、それらの歴史からどのような「教訓」を得られるかについても考える ・とくに、最近の国際政治では、新興国台頭による権力移行と大国間対立の高まり、伝統的なパワー・ポリティクスの復活、ナショナリズムや排外主義の勃興、民主化の停滞と民主主義の後退、保護主義貿易を求める声、など、「（第二次大）戦前帰帰」とも思えるような現象が散見されるようになった。冷戦終結時、米国の政治学者フランシス・フクヤマは（人類のイデオロギー闘争としての）「歴史は終焉した」と述べたが、歴史の終焉どころか、歴史が逆流しているかのような錯覚に陥りかねない状況にすらある。 ・過去の国際政治史から学べるものがあるとすれば、それは何か。現代における国際政治上の諸問題も念頭に置きながら、受講者と共に考えてゆきたい		◎	○		
2	現代国際政治史	本講義を通して学生は下記のことができるようになることが目標です。 1. アメリカの20世紀の外交を中心とした国際政治史を理解し説明することができる 2. アメリカの対外介入が各国に与えた影響を歴史的に説明することができる		◎	○		
3~4	ドイツ語圏文化特殊講義 I	以下の二点を到達目標とします。 1) ヨーロッパにおける古典系建築の発展過程を理解できるようになる。 2) ヨーロッパの古典系建築の具体的な特徴について説明できるようになる。		○	◎		

3~4	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅱ	以下の三点を到達目標とします。 (1) ヨーロッパの庭園を構成する基本要素についての知識を得る。 (2) ヨーロッパ造園芸術を代表する3つの様式について、その主要な特徴を理解する。 (3) ヨーロッパの造園芸術の根底にある「ユートピアとしての楽園」への志向への理解を深める。		○	◎		
3~4	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅲ	ドイツ語圏の文化の特定のテーマについて専門的研究を行う能力を身に付ける		○	◎		
3~4	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅳ	以下の二点を到達目標とします。 1) ヨーロッパにける教会建築が、どのように生まれ発展したかを理解できるようにする。 2) 古代から中世にかけてのキリスト教建築の具体的な特徴について、時代別に説明できるようにする。		○	◎		
3~4	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅴ	ドイツ語圏の文化の特定のテーマについて専門的研究を行う能力を得る。		○	◎		
3~4	ドイツ語圏文化特殊講義Ⅵ	ドイツ語圏の文化の特定のテーマについて専門的研究を行う能力を得る。		○	◎		
3~4	フランス文学特殊講義Ⅰ	フランス語の詩作のルールversificationの基礎、及びフランス詩の流れへの理解を踏まえ、一般に名作として通っている作品の一部をより深く読解、鑑賞出来るようになること。		○	◎		
3~4	フランス文学特殊講義Ⅱ	フランス文学の特定のテーマについて専門的研究を行う能力を得る。		○	◎		
3~4	フランス思想特殊講義Ⅰ	具体的に本授業の目標は以下の3点を得ることである。 1) 各自が考えるための視点・着想・概念・プロセス 2) 文学テキストを思想的に扱う際のさまざまな理論・分析手法 3) 各自の問題意識の提起とそれを深化させるための発表や質疑応答に対する機会		○	◎		
3~4	フランス思想特殊講義Ⅱ	フランスの思想に関する特定のテーマについて専門的研究を行う能力を得る。		○	◎		
3~4	フランス社会特殊講義	フランスの社会に関する特定のテーマについて専門的研究を行う能力を得る。		○	◎		
3~4	ヨーロッパ近現代社会史Ⅰ	18世紀から20世紀のイギリス社会における女性に対する価値観やフェミニズム思想を様々な角度から理解し、女性の権利の獲得が近現代のイギリス社会に及ぼした影響を与えたのかを考察できるようにします。最終的には、イギリス女性史を深く理解することで、現代社会における「女性」に関する多様な問題について論じることができ、その解決策を模索することがこの授業の到達目標です。		○	◎		
3~4	ヨーロッパ近現代社会史Ⅱ	・近現代イングランドにおける「犯罪crime」の歴史を理解し、それをイギリス社会・経済・文化の変化と関連付けて歴史的に位置づけ、論じることができるようになることを到達目標とします。		○	◎		
3~4	ロシア文化特殊講義Ⅰ	ロシア文化の特定のテーマについて専門的研究を行う		○	◎		
3~4	ロシア文化特殊講義Ⅱ	ロシア文化の特定のテーマについて専門的研究を行う		○	◎		
3~4	イギリス文化特殊講義Ⅰ	小説を分析的に読みその文学的特性を考察する方法を身につけるとともに、人種や植民地主義についての洞察を深める。		○	◎		
3~4	イギリス文化特殊講義Ⅱ	小説を分析的に読む方法を学ぶとともに、イギリスやアメリカの文化への理解を深める。		○	◎		
3~4	イギリス文化特殊講義Ⅲ	小説を分析的に読む方法を学び、またイギリスの階級問題や帝国主義などについても理解を深める。		○	◎		
3~4	イギリス文化特殊講義Ⅳ	小説を分析的に読みその文学的特徴を考察する方法を身につけるとともに、国際資本主義や植民地主義についての理解を深める。		○	◎		
3~4	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅰ	1. ヨーロッパ、とりわけ、独立運動が根強いスペイン・カタルーニャ州の身体文化について その歴史的背景を含めて理解する。 2. 1で学んだことと自分自身の身体を通じた経験を行き来することで 私たちが考える身体や社会、コミュニケーションのありかたを問い直す。 3. 文化とは何かを考える契機とする。		○	◎		
3~4	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅱ	1. 身体を切り口として「ヨーロッパ」を学ぶための視座を養う。 2. わたしたちを取り巻く身体文化を見直す。 3. さまざまな事柄をつなげて考えられる力をつける。		○	◎		
3~4	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅲ	ロシア・ソ連の芸術史、文化史に関する基本知識を得るとともに、それを運用できるようになります。(分析と議論)		○	◎		
3~4	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅳ	ロシア・ソ連の芸術史、文化史に関する基本知識を得るとともに、それを運用できるようになります。(分析と議論)		○	◎		
3~4	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅴ	ヨーロッパ文化の特定のテーマについて専門的研究を行う能力を得る。		○	◎		
3~4	ヨーロッパ文化特殊講義Ⅵ	ヨーロッパ文化の特定のテーマについて専門的研究を行う能力を得る。		○	◎		

3~4	Animation Studies I	This course is in collaboration with academics from Australian universities, utilizing online guest lectures. Due to the current pandemic situation, course could be offered as online course. Introducing the academic field of Animation Studies with regards to animation production, animation aesthetics and the role of animation and sequential art in popular culture.						○	◎
3~4	Animation Studies II	This course is in collaboration with academics from Australian universities, online lectures are a possibility. Introducing the academic field of Animation Studies with regards to animation production, animation aesthetics and the role of animation and sequential art in popular culture.						○	◎
3~4	*欧米文学研究 II	物語論（ナラトロジー）の基本的概念と主要学説を学ぶ。その知識をもとに、自ら物語分析を行えるようになる。						○	◎
3~4	*ロシア文学 II	ロシアやウクライナなどの現代文学について基本的知識を持つ。作品分析の能力を身につける						○	◎
3~4	*文学理論 I	比喩に関する基本的な知識を学ぶとともに、分析の応用力を養う。						○	◎
3~4	*文学理論 II	文学作品における表現と主題の関連について専門的な知識を持ったうえで、個別の短編小説を自ら分析できる能力を得ること。						○	◎
2~3	ドイツ語圏文化演習 I	ドイツの社会、歴史、文化の理解を深める。							○ ◎
2~3	ドイツ語圏文化演習 II	ドイツの社会、歴史、文化の理解を深める。							○ ◎
2~3	ドイツ語圏文化演習 III	ドイツの社会、歴史、文化の理解を深める。							○ ◎
2~3	ドイツ語圏文化演習 IV	ドイツの社会、歴史、文化の理解を深める。							○ ◎
2~3	ドイツ語圏文化演習 V	以下の2点を到達目標とします。 1) ヨーロッパ17世紀の風景画作品を観察・分析し、その成果を的確に説明する能力を身につける。 2) ヨーロッパ17世紀の風景画の基本的な特徴を、時代背景とも関連づけながら理解する。							○ ◎
2~3	ドイツ語圏文化演習 VI	以下の2点を到達目標とします。 1) ドイツ・ロマン主義の風景画作品を観察・分析し、その成果を的確に説明する能力を身につける。 2) ドイツ・ロマン主義の風景画の基本的な特徴を、時代背景とも関連づけながら理解する。							○ ◎
2~3	ドイツ語圏文化演習 VII	この授業では以下の3点を主要な到達目標とします。 1) 古代ギリシア・ローマ神話を中心に、ヨーロッパの歴史画における主要主題についての理解を深める。 2) それらの主題を物語するための「絵画ならではの手法」についての理解を深め、イメージと言葉の関係性について考える。 3) 近世（ルネサンス・バロック）の人間にとって、「古代の神話・伝説を絵にすること」がどのような意味を持っていたのかを考える。							○ ◎
2~3	ドイツ語圏文化演習 VIII	この授業では以下の3点を主要な到達目標とします。 （1）キリスト教関係の主題（「受胎告知」や「キリストの受難」など）を中心に、ヨーロッパの歴史画における主要主題についての理解を深める。 （2）それらの主題を物語するための「絵画ならではの手法」についての理解を深め、イメージと言葉の関係性について考える。 （3）近世（ルネサンス・バロック）の人間にとって、「キリスト教的主題を絵にすること」がどのような意味を持っていたのかを考える。							○ ◎
2~3	ドイツ語圏文化演習 IX	以下の3点を到達目標とします。 ①ルネサンス期を代表する建築家の作品の特徴を理解する。 ②ルネサンス期の建築作品の特徴を、各部分の名称を的確に用いて説明できる ③ルネサンス建築についての文献の内容を理解し、レポート作成に応用できるようになる。							○ ◎
2~3	ドイツ語圏文化演習 X	以下の3点を到達目標とします。 ①中世の教会建築を飾る彫刻が語る物語やそこに込められた象徴的意味を理解する ②中世の教会建築が作り出した空間の特徴を、各部分の名称を的確に用いて説明できる ③中世の教会建築についての文献の内容を理解し、レポート作成に応用できるようになる。							○ ◎
2~3	イギリス文化演習 I	小説の原理について理解を深めること、及び小説家の用いる様々な技巧を学び、それを実際の作品の分析に応用できるようになること。							○ ◎
2~3	イギリス文化演習 II	小説を分析的に読み、その文学的特徴を考察する方法を身につける。							○ ◎
2~3	イギリス文化演習 III	小説を分析的に読み、その文学的特徴を考察する方法を身につける。							○ ◎
2~3	イギリス文化演習 IV	小説を分析的に読みその文学的特性を考察する方法を身につける。							○ ◎
2~3	イギリス文化演習 V	小説を分析的に読み、その文学的特徴を考察する方法を身につける。							○ ◎
2~3	イギリス文化演習 VI	文学研究で参照される批評理論について大まかな理解を得る。							○ ◎

2~3	フランス文学演習 I	語彙や表現などの言葉の違いを始めとし、描かれた社会、風俗、心象など現代との微妙な違いを意識しながら、19世紀の文学作品を読解できること。					○	◎
2~3	フランス文学演習 II	語彙や表現などの言葉の違いを始めとし、描かれた社会、風俗、心象など現代との微妙な違いを意識しながら、19世紀の文学作品を読解できること。					○	◎
2~3	フランス文学演習 III	語彙や表現などの言葉の違いを始めとし、描かれた社会、風俗、心象など現代との微妙な違いを意識しながら、19世紀の文学作品を読解できること。					○	◎
2~3	フランス文化演習 I	この授業の到達目標は以下の3点を得ることである。 1) フランス地域への理解 2) 異文化を理解するための着眼点と問題点を得る 3) 発表・質疑応答・論文執筆技術に対する鍛錬					○	◎
2~3	フランス文化演習 II	映像表現を通して、描かれた社会、風俗、心象など現代との微妙な違いを意識しながら、20世紀のフランス映画を批評的に読解できること。また、それがフランス語でどのような概念・用語・表現によってあらわされるかを理解すること。					○	◎
2~3	フランス思想演習 I	この授業の到達目標は以下の3点を得ることである。 1) 原語（フランス語）で思想や文学を読み解く基礎的能力 2) 文学テキストを思想的に扱う際のさまざまな理論や分析手法 3) 各自の問題意識を提起・深化させるための意見陳述や質疑応答に対する機会					○	◎
2~3	フランス思想演習 II	この授業の目標は以下の3点を得ることである。 1) 原語（フランス語）で思想や文学を読み解く基礎的能力 2) 文学テキストを思想的に扱う際のさまざまな理論や分析手法 3) 各自の問題意識を提起・深化させるための意見陳述や質疑応答に対する機会					○	◎
2~3	ロシア文学演習	ロシア・東欧の文学史、芸術史、文化史に関する基本的知識を得るとともに、それを運用できるようになります。（分析と議論）					○	◎
2~3	ロシア語学演習	ロシア語の特徴と運用について施文的知識を得る。					○	◎
2~3	スラブ文化演習	ロシア・東欧の文学史、芸術史、文化史に関する基本的知識を得るとともに、それを運用できるようになります。（分析と議論）					○	◎
2~3	Language Analysis I	This is a content based class taught in English and focuses on the process of first and second language acquisition as well as clarifying the complex issue of defining bilingualism. Rather than take a theoretical perspective, the class will focus on language in use and how it functions in everyday life.					○	◎
2~3	Language Analysis II	This class will focus on the practical application of language acquisition and use and will examine the differences between spoken and written language and their applications in different social contexts. The class will also touch on the field of Forensic Linguistics and how linguistic techniques have been applied to solve crimes and detect plagiarism.					○	◎
2~3	Language Analysis III	The main focus of this class will be to look at language as a social construct and how language will change depending on the environment and social context in which it takes place. In order to understand how to analyse this aspect of language we shall examine the system of Functional Linguistics and how it can be used as a tool for language and discourse analysis.					○	◎
2~3	Language Analysis IV	This class will look at various kinds of linguistic analysis and how different techniques can be applied to analyse and understand texts. Part of the class will also look at course and materials design and what teachers need to be aware of when teaching a second language in an educational environment and how an over-reliance on theory can interfere in the pedagogical process.					○	◎
2~3	ヨーロッパ文化演習 I	1) ヨーロッパ文化に関する資料を読解し、分析する能力を得る。 2) ヨーロッパの文化現象について分析的に考察する能力を得る。					○	◎
2~3	ヨーロッパ文化演習 II	まずは現代イタリアを代表する文学者たちの作品（小説・エッセイ）を読んだり映画を見たりして、イタリアならではの軽やかさとアイロニーを楽しむこと。また、イタリアの現代文学が、実は中世から脈々と書き継がれた古典から養分を得ていることを確認すること。さらに、もう一歩進んで、現代社会について、現在起きている戦争について新たな視座を得ることがこの授業の目標である。					○	◎

2~3	ヨーロッパ文化演習Ⅲ	1) ヨーロッパ文化に関する資料を読解し、分析する能力を得る。 2) ヨーロッパの文化現象について分析的に考察する能力を得る。					○	◎
2~3	ヨーロッパ文化演習Ⅳ	1) ヨーロッパ文化に関する資料を読解し、分析する能力を得る。 2) ヨーロッパの文化現象について分析的に考察する能力を得る。					○	◎
2~3	ヨーロッパ文化演習Ⅴ	現代イタリアを代表する文学者たちの作品（小説・エッセイ）を読んだり、映画を見たりして、イタリアの現代社会におけるダイバーシティとインクルージョンについて知る。そこから、現代のイタリア社会が世界にも稀な独自の革新を重ねてきたことを確認する。さらに、授業で得た新たな視点から、現代の日本社会についてより広い視点から考察できるようになることがこの授業の目標である。					○	◎
2~3	ヨーロッパ文化演習Ⅵ	1) ヨーロッパ文化に関する資料を読解し、分析する能力を得る。 2) ヨーロッパの文化現象について分析的に考察する能力を得る。					○	◎
2~3	アメリカ研究演習Ⅰ	アメリカの歴史や社会、文化に関する知識を深める。 週10ページ程度の英文を毎週読み、要約し、コメントをすることで英文読解力ならびに発言力を高める。 文献に関するディスカッションに貢献する能力を涵養する。					○	◎
2~3	アメリカ研究演習Ⅱ	興味関心に合致した二次文献・一次史料を独自に探し、収集する能力を修得すること 海外で発行された二次文献・一次史料を活用する能力を習得すること ピアと協力し、より良い論文を書く環境形成に積極的に貢献できること					○	◎
2~3	アメリカ研究演習Ⅲ	・消費という日常的な行為が内包する課題について、学術的な研究の対象として捉えることができるようになること ・消費文化を多角的な視点から分析するための基礎的な理論を理解し、文献資料に加え、視覚的資料や物質文化を批判的に分析、考察できるようになること ・消費が体現する社会的・文化的課題、問題点などを批判的に分析、考察できるようになること					○	◎
2~3	アメリカ研究演習Ⅳ	アメリカの歴史や社会、文化に関する知識を深める。 週10ページ程度の英文を毎週読み、要約し、コメントをすることで英文読解力ならびに発言力を高める。 文献に関するディスカッションに貢献する能力を涵養する。					○	◎
2~3	アメリカ研究演習Ⅴ	1. アメリカ合衆国社会の特性をジェンダー史の観点から位置づけることができる。 2. 具体的なジェンダー史研究文献について評価できる。					○	◎
2~3	アメリカの文化と社会演習Ⅰ	ミュージアム（博物館／美術館）における展示の構成と目的に関する理論的な知識を得る。 ミュージアム（博物館／美術館）でのフィールドワークを通じて、展示を批評する方法を学ぶ。 ミュージアム（博物館／美術館）における展示の企画について実践的に学ぶ。 議論やグループワークを通じて、批判的な思考力を養う。 Gain theoretical knowledge about how and why museums create exhibits and obtain practical hands-on experience with critiquing and developing exhibit content.					○	◎
2~3	アメリカの文化と社会演習Ⅱ	アメリカの歴史や社会、文化に関する知識を深める。 週10ページ程度の英文を毎週読み、要約し、コメントをすることで英文読解力ならびに発言力を高める。 文献に関するディスカッションに貢献する能力を涵養する。					○	◎
2~3	アメリカの文化と社会演習Ⅲ	アメリカの歴史や社会、文化に関する知識を深める。 週10ページ程度の英文を毎週読み、要約し、コメントをすることで英文読解力ならびに発言力を高める。 文献に関するディスカッションに貢献する能力を涵養する。					○	◎
2~3	アメリカの文化と社会演習Ⅳ	アメリカの歴史や社会、文化に関する知識を深める。 週10ページ程度の英文を読み、英文読解力を育む。 文献に関するディスカッションに参加できるようになる。					○	◎

2~3	Seminar in the History of US-Japan Relations I	この演習は日米関係史における様々な側面をより深く検討することを目標とする。演習の題目は学期によって設定するが、授業の主な課題は毎週に重要な文献と一次史料を読むことである。その課題を通して思考力を活かして討論に参加する学生が、演習のテーマに関する深い知識を身につけることが期待できる。また授業の課題と討論が英語になるので、学生の英語能力がより上達することも期待できる。今度の題目は、第二次世界大戦中の日米戦争の歴史とその記憶を考察することである。それを到達するために出席者は文献を検討しながら討論することによって課題に関する問題を理解し、自分なりにその知識を身につけることが期待できる。英語能力の向上も期待できる。					○	◎
2~3	Seminar in the History of US-Japan Relations II	この演習は日米関係史における様々な側面をより深く検討することを目標とする。演習の題目は学期によって設定するが、授業の主な課題は毎週に重要な文献と一次史料を読むことである。その課題を通して思考力を活かして討論に参加する学生が、演習のテーマに関する深い知識を身につけることが期待できる。また授業の課題と討論が英語になるので、学生の英語能力がより上達することも期待できる。今度の題目は、第二次世界大戦の終結である。それを到達するために出席者は文献を検討しながら討論することによって課題に関する問題を理解し、自分なりにその知識を身につけることが期待できる。英語能力の向上も期待できる。					○	◎
2~4	分裂した世界における人権	国際的視野を持ち、国内外の多様な文化および価値観を理解する能力					○	◎
2~4	民族紛争問題	中東の紛争の事例を学ぶことを通じて、世界各地の紛争全般の原因、経過、結果、解決や予防の手法を説明できるようになることを目指す。授業キーワード（下記）を定義づけ、説明できる。関心のある地域の事例について情報収集や分析ができる。					○	◎
2~4	現代のジェンダー	・ジェンダーやセクシュアリティとは何かを様々な事例に即して学び、その基本的な概念を修得していること。 ・自社会におけるジェンダーバイアスを認識し、それをジェンダーの視点から説明することができること ・ジェンダーの視点から、現代社会の課題について、自分の考えをまとめることができること。					○	◎
2~4	現代の民族	・民族の歴史に関する知識を獲得する。 ・グローバル化の中の民族のあり方について理解する。 ・現代世界の諸問題と民族との関係について人類学や社会学等でのどのような研究がなされてきたのかを把握する。					○	◎
2~4	比較思想	東アジアの思想的展開を理解することで、多元的文化に向き合う素養を得ることができる。					○	◎
2~4	異文化交流史 I	国境を越えた歴史叙述のあり方を、各テーマに即して習得する。この作業を通じて、広い歴史的視野から異文化を理解するための考え方を養う。					○	◎
2~4	異文化交流史 II	現代の日中関係をめぐる諸問題の背景を理解し、歴史的思考力を身につける。					○	◎
2~4	地中海文化圏講義	翻訳のテキストで、ボッカッチョの「デカメロン」からいくつかの物語を読みます。その中世物語文学の中で女性や恋愛・セクシュアリティがどう描かれているかについて分析します。さらに16世紀の刊本でそれらの表現にどのような検閲が行われたかを見ます。女性や恋愛が、中世においてどのような表現で描かれ、近代的印刷による刊本というメディアの出現の時代、どのような検閲が行われるようになったのかを考えます。さらに20世紀以降の我々の感覚とのズレがどのように生じているのか、現代のメディアにおける女性表象や恋愛観についても考えます。					○	◎
2~4	欧米多文化主義論	アメリカの多文化主義の議論がどのように変化してきたかについて理解する。 アメリカの多文化主義が観光地でどのように実践されているか事例を探し考察できるようになる。 英語の文献を読み議論できるようになる。 授業に関連させた事例を探し考察できるようになる。					○	◎
2~4	世界の中の日本文化	日本・アジア文化における特定の専門知識を修得する。					○	◎
2~4	漢字文化圏比較論	日本・アジア文化における特定の専門知識を修得する。					○	◎
2~4	Contemporary Art and Media in Australia and Asia I	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia, Australia and Oceania					○	◎
2~4	Contemporary Art and Media in Australia and Asia II	Exposure to art concepts and art works from diverse regions of Asia, Australia and Oceania					○	◎

2~4	Comparative Higher Education	1.To understand key international higher education components and the historical events of Japanese higher education and the world. 2.To understand issues and challenges of contemporary higher education worldwide with their related policies and practices. 3.To perform your understanding in higher education research by producing research reports on international higher education.		○	◎		
4	卒業研究 I	卒業論文執筆のための自主的な研究					◎
4	卒業研究 II	卒業論文執筆のための自主的な研究					◎